

特集

“まちぐるみ”の子育て

子どもを産み、育てることは、幸せの一つの形です。一方で、初めての妊娠や出産、子育てまでを想像したとき、さまざまな不安がよぎることでしょう。また、さまざまな事情から周囲に頼れる人がおらず、悩みを抱え込んでしまうこともあるかもしれません。町は、そんな子育て世代の不安を少しでも取り除き、この町で安心して子どもを産み、育てられるような取り組みを推進しています。今回の特集「まちぐるみの子育て」では、子育て支援に関する町の事業や参加者の声、各事業にボランティアとして携わっている町民を紹介します。



～乳幼児期～ aiaiひろば 息抜きや交流、お悩み相談に



▼問い合わせ aiaiひろば
(☎697-1567)

この場には、子育てに奮闘する親をサポートするため、一般の方がボランティア「子育て助け隊」として参加しています。講習会が行われている間に子どもの遊び相手になったり、泣いている子をあやしたり。子育て経験がある方の参加は大きな力になっています。「aiaiひろば」を利用したい方も、ボランティアとして活動したい方も、お気軽にお問い合わせください。

子育てを全力でサポート！
子育てに奮闘するパパ、ママが子どもと一緒に参加でき、他の参加者との交流なども楽しめる「aiaiひろば」。月1回、赤ちゃんの月齢ごとに講習会を開き、ふれあい遊びや身体測定、離乳食の紹介などを行います。
また、保育士や栄養士など、保育や栄養管理のプロが会場にいますので、安心してご参加ください。
ボランティアが活躍中



小野寺愛さん・一花ちゃん

離乳食をあげる場合の固さや大きさなど、会場に栄養士の方がいるので相談できて良かったです。同じくらいの月齢の子どももいて、家にいるときとは違った雰囲気、娘も楽しそうに自由に過ごさせているようです。



佐藤理恵さん・李来ちゃん

月齢が同じくらいの赤ちゃんが参加しているので、同じ立場にある他のお母さんたちと話ができるのが良いです。結婚を機に町内に引っ越してきたので、交流しながら、地域のいろんなことを教えてもらっています。

詳細はこちら

aiaiひろばは講習会の他にも各種行事を実施中。詳細は子育て情報便(QR)へ。

▼場所 さわやかハウス

子育て相談

「子育てに疲れた」「子育ての仲間がほしい」など、悩みや不安をご相談ください。

あそびの広場

成長にあった遊びを見つけたり、育児の悩みを他の参加者と共有したりできます。

※aiaiひろばの各行事は、広報やはは「健康ガイド」で毎月紹介中。(本号は13頁)



～妊娠期～ マタニティひろば パパ、ママになる準備



▼問い合わせ 健康長寿課健康づくり係
(☎611-2826)

ここでは妊婦さん向けのコースはもちろん、夫婦そろっての参加ができるコースも準備しています。現役の助産師が、妊娠中の食事から出産への心構えなどのアドバイスを行う他、人形を使った沐浴の仕方を説明します。
また、父親向けに妊婦体験ジャケットを使った妊婦体験や、夫婦で話し合いながら出産後の生活スケジュールの作成ができます。妊娠期間や出産後の生活をより良いものにするための準備ができますので、ぜひご参加ください。

初めての妊娠
妊娠が分かり、お腹の中で新しい命が育っていくことに喜びを感じる反面、出産が近づくにつれてのさまざまな体調の変化、出産後に親としてしっかりと育てられるかなど、心配ごとは絶えません。マタニティひろばは、妊娠期から出産後の育児まで、親になるための準備ができる場です。
助産師が丁寧にアドバイス
ここでは妊婦さん向けのコースはもちろん、夫婦そろっての参加ができるコースも準備しています。現役の助産師が、妊娠中の食事から出産への心構えなどのアドバイスを行う他、人形を使った沐浴の仕方を説明します。

詳細はこちら

コースごとに、母乳に関することや妊娠中の食事、出産後の各種手続きなどのアドバイスや情報提供を行います。開催日は全て火曜日です。詳細は町ホームページ(QR)へ。

▼場所 さわやかハウス

妊婦さん向け

▼10月18日

▼1月31日

妊婦さん&パパさん向け

▼9月13日

▼11月22日

▼2月28日

申込方法

開催日の前日正午までに、健康長寿課健康づくり係(☎611-2826)へ。



仁杉正汰さん・恵美子さん

●正汰さん 妊婦体験は特に低い姿勢のときが辛く、大変さが分かった。2人で頑張っていきたいです。
●恵美子さん 体重を維持する意識が大切だと学び、「減らさない」といった焦りもなくなりました。



土居純さん・史田さん

●純さん 赤ちゃんも言葉が分かるという話を聞き、話しかけ方が大切ということを学びました。
●史田さん 赤ちゃんは動くと思うので不安はあるが、沐浴のやり方が分かったので良かったです。

少しでも手助けしたい

子育て助け隊

川村江美子さん



地元の方から、農繁期に「子どもをみてほしい」と頼まれ、預かった経験があります。こういったことがきっかけで、町の子育ての取り組みにも関わることができました。

毎回、aiaiひろばに来ることが楽しくなっています。

て、かわいらしい赤ちゃんを見てみると、こちらがパワーをもらえます。また、参加する方同士も話が合うと思えますし、友だち作りにもつながるのではないのでしょうか。

私自身が子育てをしていた頃とは子育ての仕方が変化したところもありますが、少しでも、町で子育てをする方の手助けができればと思っています。

矢巾町子育て応援アプリ 母子モをご利用ください



こちらからアプリをダウンロードできます。
※登録無料

スマートフォン(スマホ)で利用できる「母子モ」は、お子さんの健診や教室、予防接種の日程など、お子さんの健康のために必要な情報を記録できます。また、お知らせ機能もあるため、予防接種などの受け忘れを防止できます。

ご家族がそれぞれのスマホで利用すれば、家族間で子どもに関する情報共有もできるため、ぜひご活用ください。

●問い合わせ 役場健康長寿課健康づくり係(☎611-2826)



ファミリー・サポート・センター (ファミサポ)

子どものお世話を支援

ファミサポの利用方法など

- **依頼・支援できること** 保育園、児童館や習い事の送迎とその前後の預かり、保護者の外出時の一時預かり など
- **会員登録の方法** 下記へご連絡ください。援助会員は事前に養成講座を受けるため、安心して取り組みます。
- **時間・料金** 午前7時～午後7時の1時間・子ども1人あたり 平日500円、土日祝日600円 ※この時間帯以外での利用は各100円増し
- **問い合わせ** 町ファミリー・サポート・センター (☎611-2777)

「ファミリー・サポート・センター事業」(ファミサポ)は「地域で子育てを支援したい」と考える方々と子育て世代をつないで、行っているものです。

子育てを支援してほしい「依頼会員」、支援を行う有償ボランティア「援助会員」がいずれも町に登録。依頼会員のニーズと援助会員が取り組める支援を結び付ける取り組みです。

子育てに地域の力を

利用者からひとこと



菅野聖子さん・楓華ちゃん

夫の転勤に合わせて矢巾町に来ましたが、実家が県外にあり、すぐ近くに頼れる身内がいなく、出産後の回復にも不安を持っていました。

今は特に手がかかる時期になってきていて、子どもと2人だけで家にいるときは家事もなかなか進みません。なので、家事支援は助かっています。ヘルパーの方には、主に料理の作り置きをお願いしていて、料理の時間を子どもをみる時間に充てられます。

また、定期的に来てもらっているため、(家族以外に)子どもの成長をみてもらえるのも良いと感じています。



キッチンでヘルパーが料理をする様子を見守る菅野さん親子。食事の準備時間を子どもとの時間に充てていました。

子どもが生まれると普段の仕事や家事に加えて、子どものお世話が時間を問わず必要となり、生活リズムが変わっていきます。

町は家事の負担を少しでも減らし、両親が安心して子育てに取り組みめるよう、ヘルパーを派遣して、産後の生活をサポートする事業を行っています。

家事をお手伝いします

産後家事支援の対象者・利用方法など

- **対象・利用回数** 町に住民登録があり、出産して生後1年未満の乳児を養育している産婦またはその配偶者 最大10回
 - **内容** 食事の準備、洗濯、掃除、食品や日用品の買い物 など
 - **時間・料金** 平日午前9時～午後5時の間で1時間または2時間 1時間500円 ※生活保護世帯は無料、住民税非課税世帯は半額
 - **その他** 規定時間・回数を超える利用や買い物依頼時の交通費などは追加料金が必要です。
 - **問い合わせ** 役場健康長寿課健康づくり係 (☎611-2826)
- ※家事支援は業務委託先の㈱ニチイ学館のスタッフが行います。

援助会員の思いを紹介

三浦恵美子さん

私自身が子育てをしていた頃、近所のたくさんの方々に助けられました。いろんなことで親が困るか、気持ちがよく分かります。

会員の活動は、第2子を出産直後の家庭で上のお子さんのケアをしたり、習い事のための送迎をしたり。さまざまありますが、お預かりしている間にけがをさせないよう、安全と安心を常に意識しています。飽きさせないよう会話を楽しませたり、おもちゃと一緒に遊んだり、時には論じたりしながら「ワクワク」できる時間を過ごしています。

お子さんの気持ちを考えられ、接するのが好きな人なら、きっと楽しい。町の子育ての細やかな部分を補うのがファミサポだと思います。微力ながら奮闘中です。



子育て・孫育てガイドブックをご活用ください

妊娠・出産から子どもが18歳となるまでに、必要となる手続きや利用できる制度などをまとめた「矢巾町子育てガイドブック」「孫育てガイドブック」を発行しています。

妊娠から出産、18歳までの子育ての中で時期に合わせて利用できる各種制度などを紹介。また、祖父母が子育てを支援する場合のポイントも掲載しています。町ホームページで公開している他、さわやかハウス内で配布していますので、ご覧の上ぜひご活用ください。

- **配布場所・問い合わせ** 子ども課子育て家庭支援係 (さわやかハウス内 ☎611-2772)



こちらから各ガイドブックにアクセスできます。



いわて子育て世帯臨時特別支援金

原油価格・物価高騰による子育て世帯の負担軽減のため支援金を給付します。詳細は町ホームページ(QR)を確認するかお問い合わせください。

- **対象者** 令和4年5月分の児童手当受給者(特例給付を除く)
- **給付額** 児童手当の対象児童1人あたり15,000円
- **受給方法** 8月上旬に児童手当の登録口座に振込予定 ※公務員の場合は対象者へ8月上旬に申請案内を送付
- **提出・問い合わせ** 12月28日(水)までに、子ども課子育て家庭支援係(さわやかハウス内 ☎611-2772)

赤ちゃん子育て応援給付金

子育て世帯の生活の安定とお子さんの健全な発育を応援する「赤ちゃん子育て応援給付金」を支給しています。

- **金額** 出生児1人10万円
- **対象** 令和4年4月1日以降に出生し、出生により町に住民登録された子の保護者 ※出生時に父母と子が同じ世帯に住民登録され、実際に居住している必要があります。
- **手続き期間** 出生日から起算して60日以内
- **問い合わせ** 子ども課子育て家庭支援係(さわやかハウス内 ☎611-2772)

妊産婦タクシー乗車券を配布中

母子健康手帳交付時にタクシー乗車券1万円分を配布しています。詳細は町ホームページ(QR)へ。※タクシー会社へ事前予約が必要

- **対象** 母子健康手帳交付から1年以内の妊産婦
- **利用例** 健診や予防接種などの病院受診、子育て広場や母子事業(aiaiひろば、マタニティひろばなど)に参加する場合など
- **タクシー乗車時に必要なもの** 乗車券、母子健康手帳 ※付き添い人も同乗可
- **問い合わせ** 健康長寿課健康づくり係 (☎611-2826)